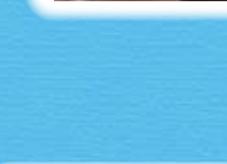
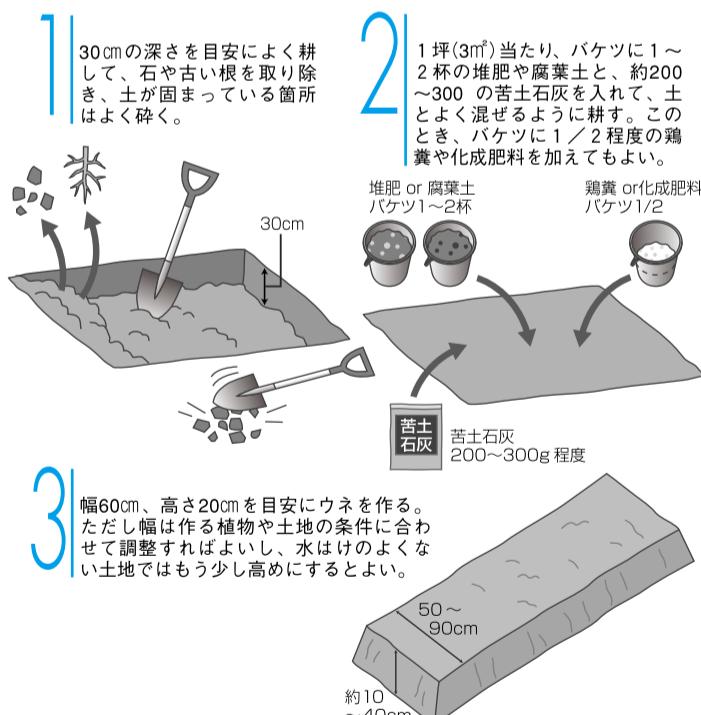


ガーデニング

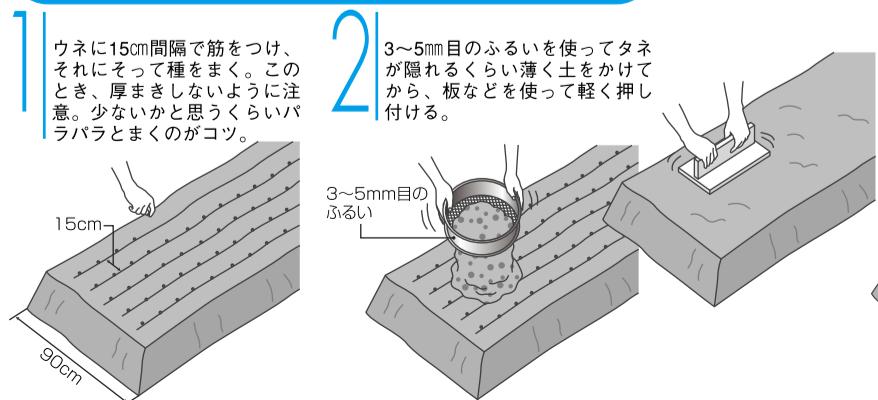


菜園の土づくり

日当たり、風通し、水はけがよく、2~3年は同じ種類の植物を作っていない場所を選んでください。そのうえで、植え付けの2週間前までに、土づくりを行います。



コマツナの栽培



よりよい収穫のために

よい種や苗を選び、土づくりをしっかりして育てれば、土が乾いたときの水やり、1ヶ月に1回程度の追肥、成長期の間引きや、芽かき作業などをすれば、収穫ができます。ここでは、よりよい収穫のためのアドバイスをご紹介します。

ベタ掛け

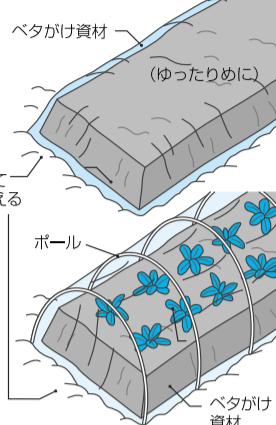
どうせ自分で作るなら、無農薬で育てたいもの。その際、害虫対策に効果的なのが、ベタ掛け資材で野菜を覆うことです。透水性、通気性がある資材を使えば、水やり時などにも資材をはずさず、直接上から水をかけることができます。

●種まき後

今後の成長を考えて、ゆったり余裕を持たせてかける。端は土をかけて押さえるようにする。

●苗の植え付け後、間引き後

ベタ掛け資材用のポールなどでトンネルをかけ、それにベタ掛け資材をかける。ベタ掛け資材とポールは留め金具で固定するとしっかりとまる。端には土をかけて、しっかりと覆う。

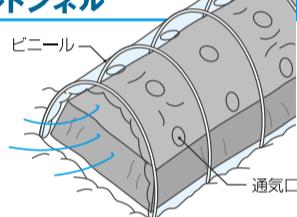


マルチング



ビニールトンネル

秋まで育てて冬越しをさせる場合は、ビニールトンネルをかけて防寒をしてやります。

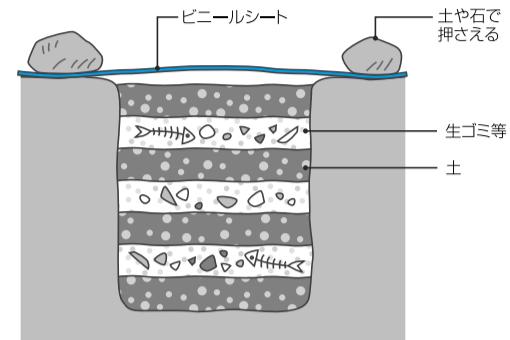


家庭菜園の楽しみ方

One Point Advice

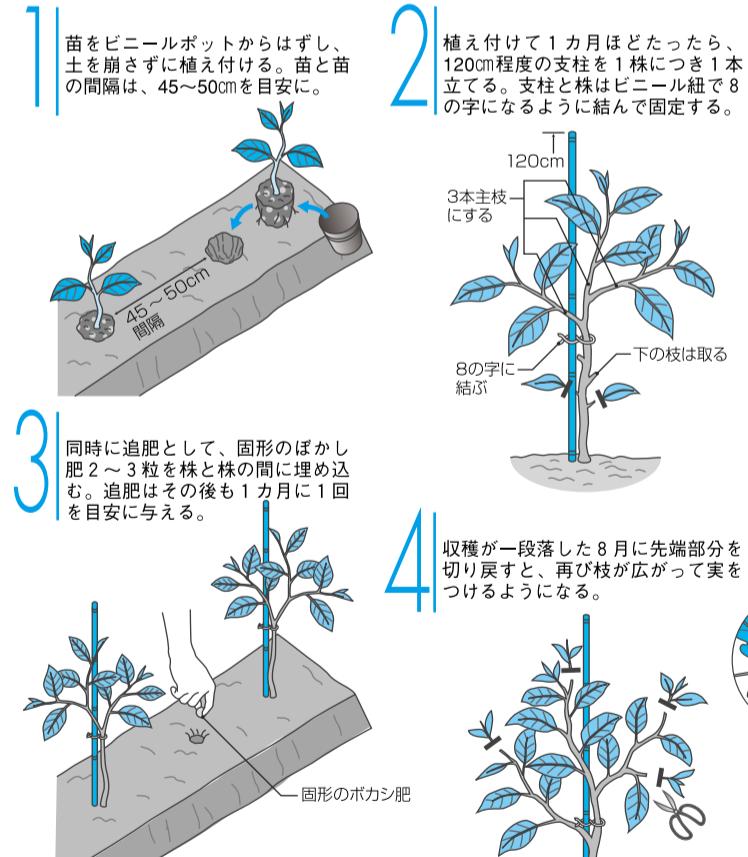
自家製堆肥の作り方

住宅が密集した場所では匂いが気になる堆肥づくりも菜園場などでなら気がなくできます。家庭で出た生ごみなどを使って堆肥に利用してはいかがですか。



菜園の隅に穴を掘り、生ごみや雑草、落ち葉など有機質のものを入れて土をかける、を繰り返して堆積させる。積み終えたら肥料分が雨で流れないようにビニールシートかトタン板で上部を覆う。夏なら3~4ヶ月、冬は半年くらいで腐って利用できるようになる。

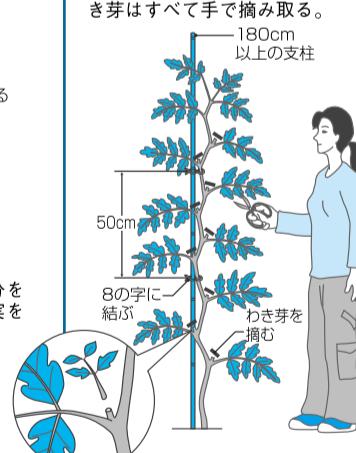
ナスの栽培



ミニトマト、ピーマン、シットウ、キュウリなどもナスとほぼ同じ方法で育てられます。

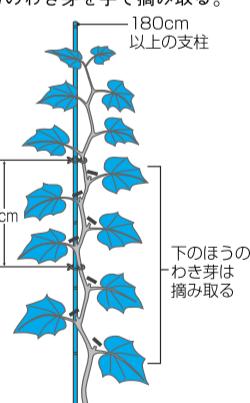
●ミニトマトの栽培ポイント

支柱は180cm以上のものを使用。成長に応じて50cm間隔でビニール紐で結ぶ。また、下から150~60cm以下に出るわき芽はすべて手で摘み取る。



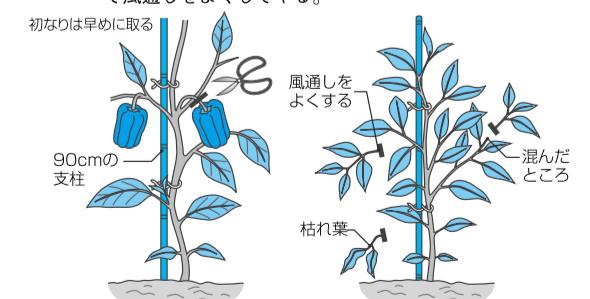
●キュウリの栽培ポイント

支柱は180cm以上のものを使用。成長に応じて50cm間隔でビニール紐で結ぶ。風通しをよくするために、収穫の邪魔にならないように下方のわき芽を手で摘み取る。



●ピーマン、シットウの栽培ポイント

支柱は90cm程度のものを使用。成長に応じて50cm間隔でビニール紐で結ぶ。初なりは早めに収穫すること、また、葉が混み合ってきたら間引くように枝を整理し風通しをよくしてやる。



種から育てる葉もの野菜はほとんど同じ要領で栽培できます。種のまき方は種の大きさによって異なるので、「No.42 種のまき方」を参照してください。種をまく間隔、間引き後の株と株の間隔については、収穫時の株の大きさに合わせて調整してください。